

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年9月30日
【中間会計期間】	自 2021年1月1日 至 2021年6月30日
【発行者の名称】	ノルウェー地方金融公社 (Kommunalbanken AS)
【代表者の役職氏名】	ヤニック・トランピー・グランクイスト 最高経営責任者 (Jannicke Trumpy Granquist, Chief Executive Officer)
【事務連絡者氏名】	弁護士 田 中 収
【住所】	東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03-6775-1025
【縦覧に供する場所】	該当なし

第1 【募集(売出)債券の状況】

売出債券の状況

売出しの届出をした債券について、2021年6月30日に終了した当該半期中の償還等の異動は以下のとおりである。

債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中の 償還額	当該半期末の 未償還額
ノルウェー地方金融公社 2022年5月27日満期 南アフリカ・ランド建ディスク ラント債券	2012年5月	6,000万 南アフリカ ランド	6,000万 南アフリカ ランド	0	6,000万 南アフリカ ランド
ノルウェー地方金融公社 2024年2月27日満期 ブラジル・レアル建債券(円貨決 済型)	2014年2月	1,450万 ブラジル ・レアル	1,450万 ブラジル ・レアル	0	1,450万 ブラジル ・レアル
ノルウェー地方金融公社 2024年2月27日満期 ブラジル・レアル建ゼロクーポ ン債券(円貨決済型)	2014年2月	2,820万 ブラジル ・レアル	2,820万 ブラジル ・レアル	0	2,820万 ブラジル ・レアル
ノルウェー地方金融公社 2021年3月18日満期 ブラジル・レアル建債券(円貨決 済型)	2014年3月	700万 ブラジル ・レアル	700万 ブラジル ・レアル	700万 ブラジル ・レアル	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月4日満期 円決済型インドルピー建債券	2016年1月	4億8,000万 インドルピー	4億8,000万 インドルピー	4億8,000万 インドルピー	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月26日満期 トルコ・リラ建債券	2016年2月	2,450万 トルコリラ	2,450万 トルコリラ	2,450万 トルコリラ	0
ノルウェー地方金融公社 2021年3月9日満期 円決済型インドルピー建債券	2016年2月	5億6,000万 インドルピー	5億6,000万 インドルピー	5億6,000万 インドルピー	0
ノルウェー地方金融公社 2024年2月28日満期 南アフリカランド建債券	2016年2月	2億500万 南アフリカ ランド	2億500万 南アフリカ ランド	0	2億500万 南アフリカ ランド
ノルウェー地方金融公社 2021年4月6日満期 円決済型インドルピー建債券	2016年3月	5億3,050万 インドルピー	5億3,050万 インドルピー	5億3,050万 インドルピー	0
ノルウェー地方金融公社 2021年7月27日満期 円決済型インドネシアルピア建 債券(毎月利払) (1)	2016年7月	380億 インドネシア ルピア	380億 インドネシア ルピア	0	380億 インドネシア ルピア
ノルウェー地方金融公社 2021年9月7日満期 円決済型インドネシアルピア建 債券(毎月利払) (1)	2016年8月	380億 インドネシア ルピア	380億 インドネシア ルピア	0	380億 インドネシア ルピア
ノルウェー地方金融公社 2021年8月26日満期 インドルピー建債券(米ドル決済 型) (1)	2016年8月	3億3,500万 インドルピー	3億3,500万 インドルピー	0	3億3,500万 インドルピー
ノルウェー地方金融公社 2021年11月9日満期 円決済型インドネシアルピア建 債券(毎月利払)	2016年10月	429億 インドネシア ルピア	429億 インドネシア ルピア	0	429億 インドネシア ルピア

債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中の 償還額	当該半期末の 未償還額
ノルウェー地方金融公社 2022年1月5日満期 円決済型インドルピー建債券	2016年12月	18億8,900万 インドルピー	18億8,900万 インドルピー	0	18億8,900万 インドルピー
ノルウェー地方金融公社 2021年12月21日満期 円決済型インドネシアルピア建 債券	2016年12月	370億 インドネシア ルピア	370億 インドネシア ルピア	0	370億 インドネシア ルピア
ノルウェー地方金融公社 2021年12月16日満期 円建 早期償還条項付 円/ブラ ジルリアル参照 デジタル・ク ーボン債券(円100%償還条件 付)	2016年12月	85億2,100万円	85億2,100万円	0	85億2,100万円
ノルウェー地方金融公社 2022年2月3日満期 円決済型インドネシアルピア建債 券	2017年1月	350億 インドネシア ルピア	350億 インドネシア ルピア	0	350億 インドネシア ルピア
ノルウェー地方金融公社 2022年1月27日満期 円決済型インドルピー建債券 (2)	2017年1月	13億8,200万 インドルピー	9億4,700万 インドルピー	0	9億4,700万 インドルピー
ノルウェー地方金融公社 2022年2月17日満期 円建 早期償還条項付 円/ブラ ジルリアル参照 デジタル・クー ボン債券(円100%償還条件付)	2017年2月	153億6,800万円	153億6,800万円	0	153億6,800万円
ノルウェー地方金融公社 2021年2月22日満期 南アフリカ・ランド建債券	2017年2月	5億2,540万 南アフリカ ランド	5億2,540万 南アフリカ ランド	5億2,540万 南アフリカ ランド	0
ノルウェー地方金融公社 2022年3月3日満期 円決済型インドルピー建債券	2017年2月	13億4,800万 インドルピー	13億4,800万 インドルピー	0	13億4,800万 インドルピー
ノルウェー地方金融公社 2022年2月17日満期 インド・ルピー建債券(円貨決済 型) (2)	2017年2月	3億 インドルピー	2億1,000万 インドルピー	0	2億1,000万 インドルピー
ノルウェー地方金融公社 2024年2月28日満期 ステップダウン型 期限前償還条 項付 インドネシアルピア・日本 円連動 円建デジタルクーボン債 券	2017年2月	9億3,000万円	9億3,000万円	0	9億3,000万円
ノルウェー地方金融公社 2022年3月3日満期 円決済型インドネシアルピア建債 券	2017年3月	360億 インドネシア ルピア	360億 インドネシア ルピア	0	360億 インドネシア ルピア
ノルウェー地方金融公社 2022年3月23日満期 円建 早期償還条項付 円/ブラ ジルリアル参照 デジタル・クー ボン債券(円100%償還条件付)	2017年3月	108億9,400万円	108億9,400万円	0	108億9,400万円
ノルウェー地方金融公社 2022年5月25日満期 円建 早期償還条項付 円/ブラ ジルリアル参照 デジタル・クー ボン債券(円100%償還条件付)	2017年5月	181億6,800万円	181億6,800万円	0	181億6,800万円

債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中の 償還額	当該半期末の 未償還額
ノルウェー地方金融公社 2022年7月11日満期 期限前償還条項付 円 / ブラジル リアル為替連動 円建債券	2017年7月	141億3,000万円	141億3,000万円	0	141億3,000万円
ノルウェー地方金融公社 2022年7月25日満期 円建 早期償還条項付 円/ブラ ジルリアル参照 デジタル・ クーポン債券(円100%償還条件 付)(2)	2017年7月	113億8,000万円	113億7,100万円	0	113億7,100万円
ノルウェー地方金融公社 2022年8月16日満期 円決済型インドルピー建債券	2017年7月	1億7,500万 インドルピー	1億7,500万 インドルピー	0	1億7,500万 インドルピー
ノルウェー地方金融公社 2022年8月24日満期 円建 早期償還条項付 円/トル コリラ参照 デジタル・クー ポン債券(円100%償還条件付)	2017年8月	154億200万円	154億200万円	0	154億200万円
ノルウェー地方金融公社 2022年8月24日満期 円建 早期償還条項付 円/ブラ ジルリアル参照 デジタル・ クーポン債券(円100%償還条件 付)	2017年8月	57億700万円	57億700万円	0	57億700万円
ノルウェー地方金融公社 2022年9月8日満期 円償還条項付 円 / トルコリラ為 替連動 トルコリラ建債券	2017年9月	4億811万 トルコリラ	4億811万 トルコリラ	0	4億811万 トルコリラ
ノルウェー地方金融公社 2022年9月8日満期 期限前償還条項付 円 / ブラジル リアル為替連動 円建債券	2017年9月	55億4,900万円	55億4,900万円	0	55億4,900万円
ノルウェー地方金融公社 2022年9月21日満期 円建 早期償還条項付 円/トル コリラ参照 デジタル・クー ポン債券(円償還条件付)	2017年9月	229億5,200万円	229億5,200万円	0	229億5,200万円
ノルウェー地方金融公社 2022年10月11日満期 期限前償還条項付 円 / ブラジル リアル為替連動 円建債券	2017年10月	55億8,000万円	55億8,000万円	0	55億8,000万円
ノルウェー地方金融公社 2022年10月11日満期 円償還条項付 円 / トルコリラ為 替連動 トルコリラ建債券	2017年10月	2億7,181万 トルコリラ	2億7,181万 トルコリラ	0	2億7,181万 トルコリラ
ノルウェー地方金融公社 2022年12月1日満期 期限前および満期時円建償還条 項付 トルコ・リラ建債券	2017年11月	1,600万 トルコリラ	1,600万 トルコリラ	0	1,600万 トルコリラ
ノルウェー地方金融公社 2023年1月10日満期 期限前償還条項付 日経平均株価 連動3段デジタルクーポン 円建 債券(2)	2018年1月	248億4,600万円	248億3,100万円	248億3,100万円	0

債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中の 償還額	当該半期末の 未償還額
ノルウェー地方金融公社 2023年1月10日満期 期限前償還条項付 日経平均株 価・S&P500 複数株価指数連動3 段デジタルクーポン 円建債券	2018年1月	88億1,800万円	88億1,800万円	88億1,800万円	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月10日満期 メキシコペソ建債券	2018年1月	1億6,500万 メキシコペソ	1億6,500万 メキシコペソ	1億6,500万 メキシコペソ	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月2日満期 円建 期限前償還条項付 2指数 (日経平均株価・S&P500指数)連 動デジタル・クーポン債券(ノッ クイン条項付 満期償還金額2指 数連動型)	2018年1月	30億円	30億円	30億円	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月2日満期 期限前償還条項付 ノックイン条 項付 他社株転換条項付 円建 デ ジタル・クーポン債券(T&Dホー ルディングス)	2018年1月	10億円	10億円	10億円	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月2日満期 期限前償還条項付 ノックイン条 項付 他社株転換条項付 円建 デ ジタル・クーポン債券(SUMCO)	2018年1月	10億円	10億円	10億円	0
ノルウェー地方金融公社 2021年1月20日満期 判定価格逡減型期限前償還条項 付 ノックイン条項付 他社株転 換条項付 円建 デジタル・クー ポン債券(三井化学)	2018年1月	5億円	5億円	5億円	0
ノルウェー地方金融公社 2023年1月25日満期 円建 早期償還条項付 トルコ リラ/円参照 デジタル・クーポ ン債券(円償還条件付)	2018年1月	149億6,100万円	149億6,100万円	0	149億6,100万円
ノルウェー地方金融公社 2021年1月26日満期 期限前償還条項付 ノックイン条 項付 他社株転換条項付 円建 デ ジタル・クーポン債券(SOMP Oホールディングス)	2018年1月	15億円	15億円	15億円	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月10日満期 判定価格逡減型期限前償還条項 付 ノックイン条項付 他社株転 換条項付 円建 デジタル・クー ポン債券(住友電気工業)	2018年1月	9億2,000万円	9億2,000万円	9億2,000万円	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月9日満期 期限前償還条項付 ノックイン条 項付 他社株転換条項付 円建 デ ジタル・クーポン債券(ジェイ エフイーホールディングス)	2018年1月	11億8,100万円	11億8,100万円	11億8,100万円	0

債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中の 償還額	当該半期末の 未償還額
ノルウェー地方金融公社 2021年2月10日満期 判定価格逦減型期限前償還条項付 ノックイン条項付 他社株転換条項付 円建 デジタル・クーポン債券(セイコーエプソン)	2018年1月	9億6,000万円	9億6,000万円	9億6,000万円	0
ノルウェー地方金融公社 2021年2月2日満期 判定価格逦減型期限前償還条項付 ノックイン条項付 他社株転換条項付 円建 デジタル・クーポン債券(帝人)	2018年1月	7億円	7億円	7億円	0
ノルウェー地方金融公社 2023年3月9日満期 円決済型インドネシアルピア建債券	2018年2月	590億5,000万 インドネシア ルピア	590億5,000万 インドネシア ルピア	0	590億5,000万 インドネシア ルピア
ノルウェー地方金融公社 2022年4月27日満期 ブラジル・レアル建債券(円貨売買型)	2018年4月	6,050万 ブラジル ・レアル	6,050万 ブラジル ・レアル	0	6,050万 ブラジル ・レアル
ノルウェー地方金融公社 2023年3月2日満期 ブラジル・レアル建債券(円貨売買型)	2019年2月	5,500万 ブラジル ・レアル	5,500万 ブラジル ・レアル	0	5,500万 ブラジル ・レアル
ノルウェー地方金融公社 2022年7月満期 ブラジルレアル建債券(円貨決済型)	2019年7月	7,373万 ブラジル ・レアル	7,373万 ブラジル ・レアル	0	7,373万 ブラジル ・レアル
ノルウェー地方金融公社 2022年7月満期 インドルピー建債券(円貨決済型)	2019年7月	21億7,110万 インドルピー	21億7,110万 インドルピー	0	21億7,110万 インドルピー
ノルウェー地方金融公社 2023年7月27日満期 米ドル建債券	2019年7月	93万米ドル	93万米ドル	0	93万米ドル
ノルウェー地方金融公社 2023年7月27日満期 南アフリカ・ランド建債券	2019年7月	1,340万 南アフリカ ランド	1,340万 南アフリカ ランド	0	1,340万 南アフリカ ランド
ノルウェー地方金融公社 2023年8月3日満期 ブラジル・レアル建債券(円貨売買型)	2019年7月	1,794万 ブラジル ・レアル	1,794万 ブラジル ・レアル	0	1,794万 ブラジル ・レアル
ノルウェー地方金融公社 2024年8月満期 米ドル建債券	2019年8月	483万米ドル	483万米ドル	0	483万米ドル
ノルウェー地方金融公社 2024年8月満期 豪ドル建債券	2019年8月	665万7,000 豪ドル	665万7,000 豪ドル	0	665万7,000 豪ドル

- (1) 2021年7月1日以降本書提出日までの間に全額償還されている。
(2) 一部買入償却されている。

第2 【発行者の概況】

- 注(1) 本書中「発行者」または「公社」とあるのはノルウェー地方金融公社(Kommunalbanken AS)を指すものとし、「ノルウェー」とあるのはノルウェー王国を指すものとする。
- (2) 特に記載のあるものを除き、本書中「クローネ」または「NOK」とあるのは、ノルウェー・クローネを意味する。参考までに2021年9月13日現在の株式会社三菱UFJ銀行により発表された対顧客電信売買相場の仲値は、1ノルウェー・クローネにつき12.70円であった。
- (3) 発行者およびノルウェー王国の会計年度は、暦年と一致している。
- (4) 本書中の数字は四捨五入されているものがあり、この場合は、それらの数字を合計した場合の数値と合計の数値は必ずしも一致しない。

1 【概況】

当該上半期中に、公社の設立の目的・根拠、法的地位、特権等、関係機関または業務上の重要な協約等に変更はなかった。

取締役会による上半期報告

ノルウェー地方金融公社は、地方自治体の資金調達を目的としたノルウェーの政府機関である。公社は、ノルウェー王国(AAA/Aaa)が100%保有しており、中央政府の支援声明に従って運営されている。

公社は、公社が明確に公共政策を担っていることを踏まえて、地方自治体または地方自治体関連企業に貸付を行うことを唯一の目的としている。中央政府にとっての手段として、公社は、地方自治体にノルウェー全体の生活水準の向上を可能とすることに、その重要な役割を認識している。ノルウェーの地方自治体の100%が公社の顧客である。

グリーンボンド・プログラムにより、公社は、ノルウェーの地方自治体の気候変動レジリエンスのある低炭素社会への移行に資金を融資することを目指している。グリーンボンドによる収入は、地方自治体への気候および環境を意識した投資に対する割引グリーン融資として支出される。これは、公社が環境、倫理および社会に対する影響に従来から長期にわたり着目してきたことを反映している。

公社は、健全な財務およびリスク管理方針による指導を受けている。すべての金融取引は全額ヘッジされており、公社は、方針要件を超える流動性を維持している。公社の重点的、専門モノライン貸付モデルは、一度も貸付損失を被ったことがない。

100%国有、中央の公共政策による任務、強力な資本基盤、堅固な財務業績および営業成績ならびに健全な財務およびリスク管理方針により、公社は、S&PおよびムーディーズからトリプルAの格付を取得している。

第2四半期における良好な貸付金の増加および基礎的な事業

2021年第2四半期における公社の純利息収益は、2020年同期の412百万クローネに対し、364百万クローネであった。貸付金は順調に増加しており、公社の貸付ポートフォリオは第2四半期に4.7十億クローネ増加した。当期利益は、第2四半期が合計119百万クローネ、2021年上半期は516百万クローネであった。

当四半期の業績

2021年第2四半期における公社のコア利益⁽¹⁾は、2020年第2四半期の233百万クローネに対し、合計195百万クローネであった。第2四半期に公社は、ノルウェー税務局から、2015年から2018年までの様々な種類の金融商品に係る課税措置および課税期間の変更に関する決定を受けた。この決定により、公社の税金負債に対する経常外利息費用として59百万クローネが発生した。公社の税金負債に係る利息費用を調整した後の2021年第2四半期の公社のコア利益は、2020年同期に比べて16.4百万クローネ増加した。

2021年第2四半期における公社の純利息収益は、2020年第2四半期の412百万クローネに対し、364百万クローネであった。公社の貸付活動および流動性資産ポートフォリオからの純利息収益は、2020年第2四半期よりも増加した。これは、公社の税金負債に対する利息費用のためで、全体としては2020年第2四半期よりも減少した。第2四半期の短期金融市場金利の低下は、2021年6月2日から適用される融資金利の引下げを通じて、公社の顧客に利益をもたらした。

2021年第2四半期における公社の当期利益は、2020年第2四半期の614百万クローネに対し、合計119百万クローネであった。2020年第2四半期との差は、主に金融商品における価値の未実現の変動によるものである。公社は、2020年第2四半期には合計485百万クローネの金融商品の未実現利益を認識したのに対し、2021年第2四半期には合計121百万クローネの未実現損失を認識した。公社の固定利付貸付金は、公正価値で、2020年第2四半期には340百万クローネの未実現利益を認識した一方で、2021年第2四半期においては、合計30百万クローネの未実現損失をもたらした。米ドルによる借入金をノルウェー・クローネに転換するために使用されるヘッジ商品および公社の流動性管理ポートフォリオは、92百万クローネの未実現損失をもたらした。公社の未実現損益は、市場環境が正常化するか、または金融商品が満期に近づくにつれて、反転すると予想される。流動性資産ポートフォリオの有価証券を売却した結果、第2四半期に合計4百万クローネの実現利益が発生した。

公社の損失引当金は、ノルウェーの地方自治体が自らの破綻を宣言することができないことから、比較的限られている。また、公社の流動性管理ポートフォリオは非常に信用度が高い。公社の損失引当金を変更した結果、第2四半期に過去の損失引当金を取り崩して2百万クローネを収益として認識した。第2四半期の公社の営業費用合計は、2020年同期の56百万クローネに対し、60百万クローネであった。かかる増加は予想に沿ったものであった。この増加は、公社が2020年に利益分配のために引当金を取り崩したことによるものである。公社は2021年第2四半期においてほぼ正常に稼働しており、コロナウイルスの状況による公社費用への影響はほとんどなかった。

-
- (1) コア利益とは、金融商品に係る税引後の未実現純利益 / (損失)およびその他Tier1資本の所有者に配分される部分を調整した当期利益を意味する。この業績評価は、基礎的な事業から得られる利益に関連する情報を提供するために含まれている。

2021年上半期の業績

2021年上半期における公社のコア利益⁽²⁾は、2020年同期の456百万クローネに対し、合計405百万クローネであった。

公社の2021年上半期の純利息収益は、2020年同期の856百万クローネに対し、748百万クローネであった。この減少は主に、短期金融市場金利の低下により流動性管理ポートフォリオからの利息収益が減少したことと、公社の税金負債に対する利息費用によるものである。

公社の2021年上半期の当期利益は、2020年同期の385百万クローネに対し、516百万クローネであった。この増加は、2020年同期の金融商品の未実現損失が合計141百万クローネであったのに対し、2021年の未実現利益合計が109百万クローネであることによるもので、前者は2020年に見られた市場の混乱に起因している。公社の2021年上半期の総営業費用は、2020年上半期の120百万クローネに対し、124百万クローネであった。この増加は、公社が2020年に利益分配のために引当金を取り崩したことによるものである。

経常的活動からの業績に基づく、2021年上半期の公社の株主資本利益率の年率は、2020年同期の4.9%に対し、6.0%となった。公社のコア収益に基づく、2021年上半期の公社の株主資本利益率の年率は、2020年同期の6.3%に対し、5.0%となった。

2021年上半期の公社の包括利益合計は、2020年同期の601百万クローネに対し、95百万クローネとなった。2021年に公社の発行債券に係る信用スプレッドは縮小し、国際金融市場における類似の発行体のスプレッドも同様であった。この縮小により、公社の債券の市場価額は増加した。公社自身の負債の価値の変動として、上半期に合計562百万クローネの未実現損失が包括利益合計の一部として認識された。2020年同期においては、合計287百万クローネの同様の未実現利益があった。

-
- (2) コア利益とは、金融商品に係る税引後の未実現純利益 / (損失)およびその他Tier1資本の所有者に配分される部分を調整した当期利益を意味する。この業績評価は、基礎的な事業から得られる利益に関連する情報を提供するために含まれている。

貸付業務

2021年第2四半期末現在の公社の貸付ポートフォリオは、合計318.2十億クローネとなった。2021年第2四半期において貸付ポートフォリオは4.7十億クローネ増加したが、2020年度末からほとんど変化はなかった。2021年上半期における公社の貸付ポートフォリオの成長率は、2020年上半期に比べて著しく好調であった。2020年第2四半期は、コロナウイルスのパンデミックの影響をめぐる不確実性が大きな影響を与えた。

2021年第2四半期における貸付ポートフォリオの増加は、資本市場との競争の中で提供された分割返済なしの貸付金にあった。地方自治体に対する貸付市場では引き続き激しい競争が続いているが、公社の競争力は2021年第1四半期に比べてやや強化されている。2021年第2四半期における長期分割返済付貸付は、新規貸付の需要が減少したことに加え、既存の融資の償還がやや多かったことから、3.6十億クローネ減少した。

2021年第2四半期における新規貸付金は、2020年第2四半期の13.1十億クローネに対し、合計15.8十億クローネとなった。これらの数値は、新たな資金調達および既存の融資の借換えに対する融資を含む。

第2四半期は、公社のグリーン融資に対する需要が好調で、グリーン融資のポートフォリオは937百万クローネまたは3.5%増加した。2021年上半期におけるグリーン融資の成長率は、6.0%であった。当四半期にグリーン融資により資金調達したプロジェクトには、ローレンスコグのフェルハマルにおける新設校の第一期工事、ホルメストランの新設校およびボーツフィヨール港の新岸壁が含まれる。

2020年における地方自治体の貸付成長率は高く、ノルウェー統計局の指標C2によると、年成長率は7.7%であった。かかる成長率は2021年においても継続し、5月末現在における成長率は8.3%であった。この成長は、ノルウェー国家住宅銀行からの多額の貸付金によってもたらされたもので、2021年第1四半期も同様であった。問題の貸付は、個人への貸付を目的としたスタートアップローンで、公社の市場領域外のものである。かかる貸付を調整した結果、2021年上半期の債務の増加率は比較的緩やかなものとなった。

公社の貸付ポートフォリオの増加は、主に資本市場との競争において公社が借換えでより多くのシェアを獲得したことによるものである。第2四半期には、地方自治体部門からの新規借入需要は比較的少なかった。公社は、顧客への調査に基づき、第3四半期および第4四半期には新規借入需要の増加を見込んでいる。需要の増加が見込まれるのは、特に公社が最も重要な供給者である長期分割返済付貸付である。公社の市場シェアは、2021年第2四半期末現在において45%強であった。

金融市場

コロナウイルスの大流行を受けて、中央銀行およびその他当局は大規模な経済支援策を打ち出した。市場はこれを好意的に受け止め、2020年第1四半期のパンデミック開始以降、株式、長期金利ともに大きく上昇している。オスロの株式市場は過去1年間で約40%上昇し、ノルウェーの10年物金利は同期間で0.65%ポイント上昇している。

地方自治体の債券およびカバードボンドの信用取引上の利鞘は、昨年に比べて著しく低下している。例えば、2021年第2四半期末のカバードボンドの5年の信用取引上の利鞘は、2020年第2四半期末に比べて0.10%ポイント低下した。

資金調達

2021年第2四半期における公社の資金調達活動は、借換えに対する需要の減少により、2020年第2四半期よりやや縮小した。2021年第2四半期における新規の借入れは、4種の通貨における11件の債券の発行を通じて、2020年同期の約24.9十億クローネに対し、合計22.9十億クローネとなった。

公社は、2021年第2四半期にノルウェーの金融機関として初めて、SOFR(担保付翌日物調達金利)をベンチマークレートとする米ドル建て債券を発行した。かかる債券は市場において好評で、募集枠を大幅に超過した。公社はまた、中国オフショア人民元(CNH)による初の債券と、総額500百万米ドルのグリーンボンドを新たに発行した。公社はニュージーランドドル建ての投資家から記録的な需要を受けた結果、総額1十億ニュージーランドドルの債券を発行したが、投資家のほとんどはニュージーランド国内に拠点を置いていた。公社はまた、米ドルによる追加の資金調達取引を完了し、英ポンドによる小規模な債券も2回発行した。当四半期において、公社は多様な市場と通貨へのアクセスを享受した。

2021年上半年期における公社の新規借入れは、2020年上半年期の55.3十億クローネに対し、合計63.6十億クローネとなった。

流動性管理

2021年6月30日現在の公社の流動性資産ポートフォリオは、2020年6月30日現在の124.5十億クローネに対し、合計108.1十億クローネとなった。公社は、その流動性資産ポートフォリオが、貸付成長も含む今後12ヶ月分の公社の自己資本要件に合致することを確保するよう努めており、それは低リスク投資戦略に沿って管理されている。

流動性資産ポートフォリオは、主として特に流動性の高いリスク・ウェイトがゼロの資産で保有されている。外貨建ての投資はポートフォリオの約70%を占める。そのため、その他通貨に関連するノルウェー・クローネの価値の変動は、ノルウェー・クローネに換算した公社の流動性資産ポートフォリオの規模の変動をもたらす。2021年第2四半期に報告された流動性資産ポートフォリオの価値の減少の一部は、2020年6月末と比べ2021年6月末現在のノルウェー・クローネ高が進んだことに起因する。

資本

2021年第2四半期末現在、公社の普通株式等Tier1資本合計は14.7十億クローネ、Tier1資本合計は17.1十億クローネ、総資本は19.1十億クローネであった。第2四半期末現在、公社の資産合計は、2020年度末現在の498十億クローネおよび2020年第2四半期末現在の503十億クローネに対し、477十億クローネであった。2020年度末からの減少は、その多くが、公社の流動性資産ポートフォリオの規模の縮小に起因している。

2021年第2四半期末現在、公社の普通株式等Tier1自己資本比率は18.1%、自己資本比率(Tier1資本)は21.1%、自己資本比率(合計)は23.5%であった。第2四半期末現在、当局によって義務付けられた自己資本比率要件は15.2%(普通株式等Tier1自己資本)、16.7%(Tier1資本)、18.7%(総資本)であった。6月29日、公社は金融監督庁より、その第2の柱における要件が0.1%ポイント減少し2.2%ポイントとなった旨の通知を受けた。ノルウェー財務省は、2022年6月30日より、公社が服するカウンターシクリカルなバッファ要件の0.5%ポイントの引上げを決定した。

四半期末現在における公社のレバレッジ比率は3.8%であり、要件の3.0%に引けを取らない。

税金

2021年5月、公社はその2015年度から2018年度における税務評価を変更する旨の決定通知を受領した。かかる変更は、金融商品の発生に関する課税措置および課税期間に関するものである。かかる税務上の扱いの変更に関する2020年12月の通知を受け、公社は、予想される税務当局からの扱いに対応した2020年度の会計報告を作成した。

2015年度から2018年度における税務評価の変更により、公社は2021年第2四半期において過去の会計期間について税金を支払うこととなった。税務当局のかかる決定において、納税義務者は、滞納による流動性利益に対して補償する目的で利息を支払うことも義務付けられる。この利息費用は、2021年第2四半期において認識され、合計59百万クローネに達した。

ノルウェー税務局の決定は、課税所得および費用の認識のタイミングが徐々に変更されることを意味するが、債券の残存期間を通じて、課税所得および費用合計に変更はない。公社の見解では、税務局の決定により、一時差異および税金の支払いはより大規模でより不安定となるが、税率に変更がない限り、公社の長期的な税金費用には重大な影響を及ぼさない。

公社は今もなお、会計報告における金融商品の発生に関する課税措置および税務評価に関するいくつかの点において、ノルウェー税務局に不服を唱えている。公社はかかる決定に対して、税務不服審査会へ不服申立てをした。

将来の展望

ノルウェー中央銀行の金融政策・金融安定委員会は、2021年6月17日の金利会合に関連し、「パンデミックの拡大については不確実性が残るものの、経済活動は現在、先の予測よりもやや早いペースで急激に回復しているようである。」と記した。主要経済指標およびパンデミックの克服へ向けた前進を踏まえ、市場では現在、9月および12月のそれぞれにおいて、ノルウェーの金利が上昇するという期待が高まっている。これらの上昇が起こった場合、3ヶ月NIBORは当年度末までに、現在の約0.25%に対し、0.8%から0.9%の範囲内となるであろう。現在、多くの国で物価上昇が観測されており、これは通常、金利の上昇を引き起こす。いくつかの中央銀行は物価上昇を観測しているが、これは一時的なものであり、パンデミックが経済にもたらした短期的な障害の結果であるとの見解を示した。コロナウイルスの新たな変異株であるデルタ株の感染例の増加により、我々は新たな市場の不確実性に直面している。さらなるグローバルなロックダウンが実行された場合、最も起こり得る結果は、金利上昇が継続する可能性の低下である。

市場の信用スプレッドは歴史的な低水準となっており、第2四半期を通じて変化はなかった。スプレッドの縮小は、世界の主要な中央銀行が実行した、債券およびその他債券の大規模な買入れプログラムによる量的緩和に起因するところが多い。ノルウェーおよび国際的な活動の再開に伴い、かかる措置は中央銀行によって段階的に終了すると予想される。このプロセスは早ければ2021年下半期に開始し、今後数年間継続すると予想されている。中央銀行からの債券および債券に対する需要が減少した結果、信用スプレッドは今日の低水準からやや上昇すると予想されている。

2021年第2四半期において、公社は顧客の今後の借入需要についての調査を実施した。回収した回答に基づき、公社は2021年第3四半期および第4四半期における新規融資への需要の伸びを予想している。特に、長期分割返済付融資に対する需要の伸びが予想される。公社はこの市場において最大かつ最も重要な融資機関である。

2021年、公社はUngt Entreprenørskap(若い起業家精神)との共同事業を開始した。かかる共同事業は、公社が社会の持続可能性に関する取組みを強化した結果である。かかる事業は、生徒が独自のビジネスを立ち上げるというプログラムを通じ、中学校レベルでの社会的起業および持続可能性に焦点を当てている。第一段階において、かかる事業はモーレおよびロムスダル県、ノールランド県、ヴィーケン県ならびにロガラン県において実施され、順次その他の県でも実施される。公社は、この共同事業を今後さらに発展させていきたいと考えている。

2 【資本構成】

以下の表は公社の未監査財務書類に基づく2021年6月30日現在の公社の非連結の資本構成を示している。この表は、後記「4 経理の状況」に記載の2021年上半期の財務書類と併せて読まれるべきである。

(単位：百万クローネ)

債務：	
長期債務	418,962
劣後債務	2,024
その他	36,937
債務合計	457,923
資本：	
株式資本	3,895 ¹⁾
その他Tier1資本	2,392
剰余金	11,781
当期利益	516
資本合計	18,583
資本構成 ²⁾	476,507

1) 公社の株式資本は3,895百万クローネであり、各額面金額1,000クローネの払込済普通株式3,894,625株により構成されている。2021年6月30日現在、ノルウェー政府が3,894,625株(100%)を保有している。

2) 資本および負債の合計。なお、自己資本比率の計算のための総資本は、その他の自己資本に該当する劣後債務の一部のみを考慮して計算されるため、合計で19,139百万クローネとなる。

2021年6月30日以降、公社の資本構成に重大な変更はなかった。

3 【組織】

当該上半期中に取締役に変更はなかった。

4 【経理の状況】

2021年上半期

要約中間財務情報

損益計算書 (未監査)

(単位：百万クローネ)	注記	2021年 4月～6月期	2021年 1月～6月期	2020年 4月～6月期	2020年 1月～6月期	2020年12月31日 に終了した1年
償却原価で測定される資産からの 利息収益		512	1,046	888	2,272	3,258
公正価値で測定される資産からの 利息収益		339	690	732	1,781	2,442
利息収益合計		852	1,736	1,620	4,053	5,700
利息費用合計		488	989	1,208	3,198	4,028
純利息収益	1	364	748	412	856	1,672
サービス料および手数料		26	51	24	59	115
金融商品に係る未実現純利益 / (損失)	2	(121)	109	485	(141)	224
予想信用損失	6	(2)	(1)	(4)	25	14
純トレーディング収益		4	8	(19)	(16)	25
その他営業収益合計		(142)	68	446	(239)	120
給与および一般管理費		34	76	30	70	147
固定資産の減価償却		8	14	6	12	25
その他の費用		18	33	19	39	84
営業費用合計		60	124	56	120	255
税引前利益		163	692	804	495	1,537
利益に係る税金		44	175	189	110	377
当期利益		119	516	614	385	1,159
株主割当額		104	487	602	357	1,095
その他Tier1資本所有者割当額		15	29	13	28	64

包括利益計算書
(未監査)

(単位：百万クローネ)	注記	2021年 4月～6月期	2021年 1月～6月期	2020年 4月～6月期	2020年 1月～6月期	2020年12月31日 に終了した1年
当期利益		119	516	614	385	1,159
その他の包括利益						
損益計算書に再分類されることのない項目						
信用リスクの変動による負債の 公正価値の変動	9	39	(562)	(262)	287	130
確定給付制度に係る保険数理による 利益 / (損失)		0	0	0	0	(2)
税金の影響		(10)	141	66	(72)	(32)
その他の包括利益合計		29	(422)	(197)	215	96
当期包括利益合計		148	95	417	601	1,255

貸借対照表
(未監査)

(単位：百万クローネ)	注記	2021年6月30日現在	2020年6月30日現在	2020年12月31日現在
資産				
金融機関向債権	3,4	21,223	32,249	18,950
その他の金融市場預金	3	0	488	1,712
分割返済付貸付金	3,4,5,6	320,393	311,729	321,874
ノート、ボンドおよびその他利付証券	3,4,6,7,8	110,878	128,973	127,108
金融デリバティブ	3,4	20,649	26,941	25,176
繰延税金資産		3,195	1,954	3,230
その他の資産		169	171	169
資産合計		476,507	502,505	498,219
負債および資本				
金融機関からの負債	3,4	11,261	14,658	13,871
コマーシャル・ペーパー	3,4	18,745	4,580	20,045
債券発行	3,4,9	407,701	423,699	413,717
金融デリバティブ	3,4	17,494	35,571	28,341
その他の負債		80	73	63
当期税金負債		581	3,868	1,501
繰延税金負債		0	0	0
年金債務		37	36	37
劣後債務	3,4	2,024	2,125	2,106
負債合計		457,923	484,610	479,681
株式資本		3,895	3,895	3,895
その他Tier1資本		2,392	2,392	2,392
剰余金		11,781	11,223	12,251
当期利益		516	385	
資本合計	10	18,583	17,894	18,538
負債および資本合計		476,507	502,505	498,219

資本変動表
(未監査)

(単位：百万クローネ)					
2021年1月1日～6月30日					
	株式資本	その他Tier1資本	信用リスクの 変動による 負債の価値変動	剰余金	資本合計
資本(2020年12月31日現在)	3,895	2,392	(297)	12,547	18,538
当期利益	0	0	0	516	516
その他の包括利益 - 信用リスク の変動による負債の価値変動	0	0	(422)	0	(422)
その他の包括利益 - 保険数理に よる利益 / 損失	0	0	0	0	0
Tier1資本への支払利息	0	0	0	(49)	(49)
配当金(2020年)	0	0	0	0	0
資本(2021年6月30日現在)	3,895	2,392	(719)	13,014	18,583

2020年1月1日～6月30日					
	株式資本	その他Tier1資本	信用リスクの 変動による 負債の価値変動	剰余金	資本合計
資本(2019年12月31日現在)	3,145	2,189	(395)	11,460	16,401
当期利益	0	0	0	385	385
その他の包括利益 - 信用リスク の変動による負債の価値変動	0	0	215	0	215
その他の包括利益 - 保険数理に よる利益 / 損失	0	0	0	0	0
Tier1資本への支払利息	0	0	0	(60)	(60)
Tier1資本コール	0	(994)	0	0	(994)
Tier1資本の発行	0	1,197	0	0	1,197
株式資本の発行	750	0	0	0	750
配当金(2019年)	0	0	0	0	0
資本(2020年6月30日現在)	3,895	2,392	(179)	11,786	17,894

2020年1月1日～12月31日					
	株式資本	その他Tier1資本	信用リスクの 変動による 負債の価値変動	剰余金	資本合計
資本(2019年12月31日現在)	3,145	2,189	(395)	11,460	16,401
当期利益	0	0	0	1,159	1,159
その他の包括利益—信用リスク の変動による負債の価値変動	0	0	97	0	97
その他の包括利益—保険数理に よる利益 / 損失	0	0	0	(2)	(2)
Tier1資本への支払利息	0	0	0	(64)	(64)
Tier1資本コール	0	(994)	0	0	(994)
Tier1資本の発行	0	1,197	0	(5)	1,192
株式資本の発行	750	0	0	0	750
配当金(2019年)	0	0	0	0	0
資本(2020年12月31日現在)	3,895	2,392	(297)	12,547	18,538

キャッシュ・フロー表
(未監査)

(単位：百万クローネ)	2021年 1月～6月期	2020年 1月～6月期	2020年12月31日 に終了した1年
営業活動によるキャッシュ・フロー			
受取利息	1,782	4,577	6,371
支払利息	(986)	(3,175)	(4,653)
サービス料および手数料支払額	(15)	(50)	(115)
発行債券買戻しによる収入	8	(16)	25
従業員およびサプライヤーに対する現金支払額	(106)	(105)	(224)
利益に係る税金支払額	(920)	0	(3,872)
顧客向貸付金の支払(純額)	(29)	3,084	(8,466)
金融機関向債権(増加) / 減少額(純額)	(2,959)	1,509	10,132
ノート、ボンドおよびその他利付証券(増加) / 減少額(純額)	14,230	(10,600)	(12,801)
その他資産(増加) / 減少額(純額)	(5)	7	(4)
その他の負債増加 / (減少) 額(純額)	(42)	1	4
金融デリバティブの(増加) / 減少額(純額)	(10,264)	24,904	(7,021)
営業活動によるキャッシュ・フロー(純額)	694	20,137	(20,624)
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の(購入) / 売却(純額)	(10)	(16)	(16)
投資活動によるキャッシュ・フロー(純額)	(10)	(16)	(16)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
コマーシャル・ペーパー発行による収入	176,596	30,142	198,006
コマーシャル・ペーパーの返済	(178,305)	(28,816)	(180,621)
リース債務の返済	(3)	(3)	(7)
債券発行による収入	63,638	55,252	107,823
債券の返済	(62,276)	(77,619)	(106,301)
その他Tier1資本発行による収入	0	1,196	1,196
Tier1資本の返済	0	(1,000)	(1,000)
Tier1資本への支払利息	(49)	(55)	(68)
配当金支払額	0	0	0
払込株式資本金	0	750	750
財務活動によるキャッシュ・フロー(純額)	(399)	(20,152)	19,778
キャッシュ・フロー(純額)	285	(31)	(862)
外国為替差額による影響	3	329	539
外国為替差額控除後のキャッシュ・フロー(純額)	288	297	(268)
1月1日現在の現金および現金同等物	190	459	459
現金および現金同等物の変動額(純額)	288	297	(268)
期末現在の現金および現金同等物	478	756	190
このうち			
合意された満期のない金融機関向債権	478	756	190
合意された満期のない金融機関からの負債	0	0	0

会計方針

公社は、欧州連合(EU)が採用した国際財務報告基準(IFRS)に従って財務書類を作成している。2021年6月30日現在の中間財務書類は、IAS第34号 *中間財務報告*に従って作成され、2020年度の年次財務書類と同一の会計方針に準拠しているが、以下の点に注意されたい。

IFRSに従った財務書類の作成のためには、経営陣が、資産および負債の帳簿価格ならびに収益および費用に影響する可能性のある見積および判断を行うことが必要となる。見積および判断は、過去の経験および将来動向に関する予想に基づくものであり、実際の結果は当該見積と異なる場合がある。

活発な市場で取引されていないか、または報告日に相場価格が即日利用可能でない金融商品の公正価値は、評価技法を用いて決定される。かかる公正価値の測定のためには、経営陣が、金融商品に関連する信用リスクおよび流動性リスクに関わる判断および仮定を行う必要がある。かかる判断および仮定は、報告日の実際の市況に可能な限り基づいてはいるものの、それらにより帳簿価格に関する不確実性が増す場合がある。

現行の指標金利を改革する作業は予定どおり進行しており、2021年度末には銀行間出し手金利(IBOR)金利の一部が置き換えられる予定である。公社は、当該指標金利に関連する条件を含む多くの契約を有しており、かかる変更により影響が生じる。公社は、会計基準の変更およびその他の点に関する見直しに注目していく。2020年8月、国際会計基準審議会(IASB)はかかる分野におけるIASBの段階2の作業について結果を公表した。この変更は2021年1月1日から実施され、それに伴いIFRS第9号の調整が行われた。なお、この調整に伴う公社の会計基準の大きな変更はない。

税金負債に対する利息は、公社におけるその他の金融負債に対する利息項目と同様に扱われ、純利息収益に計上される。

注記 1

純利息収益 (単位: 百万クローネ)

2021年4月～6月期	合計	公正価値で表示されているもの				償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	公正価値で 表示されて いる合計	
金融機関向債権	(10)	0	0	0	0	(10)
その他の金融市場預金	(1)	0	0	0	0	(1)
分割返済付貸付金	982	493	0	0	493	489
ノート、債券およびその他 利付証券	146	112	0	0	112	34
金融デリバティブ	(265)	0	(265)	0	(265)	0
利息収益合計	852	605	(265)	0	339	512
金融機関からの負債	0	0	0	0	0	0
コマーシャル・ペーパー	11	0	0	0	0	11
債券発行	1,660	935	0	0	935	725
金融デリバティブ	(1,257)	0	(670)	(586)	(1,257)	0
劣後債務	15	15	0	0	15	0
その他の利息費用 ¹⁾	59	0	0	0	0	59
利息費用合計	488	950	(670)	(586)	(307)	795
純利息収益	364	(345)	405	586	647	(283)

1) 過年度の税金評価の変更に伴う税金の利息費用

2021年1月～6月期	合計	公正価値で表示されているもの				償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	公正価値で 表示されて いる合計	
金融機関向債権	(20)	0	0	0	0	(20)
その他の金融市場預金	(4)	0	0	0	0	(4)
分割返済付貸付金	1,981	989	0	0	989	992
ノート、債券およびその他 利付証券	236	158	0	0	158	77
金融デリバティブ	(457)	0	(457)	0	(457)	0
利息収益合計	1,736	1,147	(457)	0	690	1,046
金融機関からの負債	0	0	0	0	0	0
コマーシャル・ペーパー	25	0	0	0	0	25
債券発行	3,509	1,990	0	0	1,990	1,519
金融デリバティブ	(2,635)	0	(1,498)	(1,137)	(2,635)	0
劣後債務	30	30	0	0	30	0
その他の利息費用 ¹⁾	59	0	0	0	0	59
利息費用合計	989	2,021	(1,498)	(1,137)	(614)	1,603
純利息収益	748	(874)	1,041	1,137	1,304	(557)

1) 過年度の税金評価の変更に伴う税金の利息費用

2020年4月～6月期	合計	公正価値で表示されているもの				償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	公正価値で 表示されて いる合計	
金融機関向債権	(2)	0	0	0	0	(2)
その他の金融市場預金	(2)	0	0	0	0	(2)
分割返済付貸付金	1,347	539	0	0	539	807
ノート、債券およびその他 利付証券	571	486	0	0	486	85
金融デリバティブ	(293)	0	(293)	0	(293)	0
利息収益合計	1,620	1,026	(293)	0	732	888
金融機関からの負債	(1)	0	0	0	0	(1)
コマーシャル・ペーパー	0	0	0	0	0	0
債券発行	2,555	1,553	0	0	1,553	1,002
金融デリバティブ	(1,362)	0	(977)	(385)	(1,362)	0
劣後債務	15	15	0	0	15	0
利息費用合計	1,208	1,568	(977)	(385)	206	1,002
純利息収益	412	(542)	683	385	526	(114)

2020年1月～6月期	合計	公正価値で表示されているもの				償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	公正価値で 表示されて いる合計	
金融機関向債権	(2)	0	0	0	0	(2)
その他の金融市場預金	(8)	0	0	0	0	(8)
分割返済付貸付金	3,133	1,074	0	0	1,074	2,059
ノート、債券およびその他 利付証券	1,560	1,337	0	0	1,337	223
金融デリバティブ	(630)	0	(630)	0	(630)	0
利息収益合計	4,053	2,412	(630)	0	1,781	2,272
金融機関からの負債	(1)	0	0	0	0	(1)
コマーシャル・ペーパー	39	0	0	0	0	39
債券発行	5,191	2,725	0	0	2,725	2,466
金融デリバティブ	(2,061)	0	(1,422)	(639)	(2,061)	0
劣後債務	30	30	0	0	30	0
利息費用合計	3,198	2,754	(1,422)	(639)	693	2,505
純利息収益	856	(343)	792	639	1,088	(232)

2020年	合計	公正価値で表示されているもの				償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	公正価値で 表示されて いる合計	
金融機関向債権	(18)	0	0	0	0	(18)
その他の金融市場預金	(13)	0	0	0	0	(13)
分割返済付貸付金	5,125	2,111	0	0	2,111	3,013
ノート、債券およびその他 利付証券	1,780	1,504	0	0	1,504	276
金融デリバティブ	(1,173)	0	(1,173)	0	(1,173)	0
利息収益合計	5,700	3,615	(1,173)	0	2,442	3,258
金融機関からの負債	(1)	0	0	0	0	(1)
コマーシャル・ペーパー	6	0	0	0	0	6
債券発行	9,371	5,198	0	0	5,198	4,174
金融デリバティブ	(5,409)	0	(3,559)	(1,851)	(5,409)	0
劣後債務	61	61	0	0	61	0
利息費用合計	4,028	5,259	(3,559)	(1,851)	(151)	4,179
純利息収益	1,672	(1,644)	2,386	1,851	2,592	(921)

注記 2

金融商品に係る未実現純利益 / (損失) (単位：百万クローネ)

	2021年 4月～6月期	2021年 1月～6月期	2020年 4月～6月期	2020年 1月～6月期	2020年
分割返済付貸付金	69	(1,404)	844	4,163	2,842
ノート、債券およびその他利付証券	(95)	(365)	(438)	855	443
金融デリバティブ	1,709	(2,039)	3,183	1,233	2,103
債券発行	(1,791)	3,865	(3,091)	(6,224)	(5,047)
劣後債務	(12)	52	(13)	(167)	(118)
金融商品に係る未実現純利益 / (損失)	(121)	109	485	(141)	224

信用リスクの変動による負債の公正価値の変動は、上記の表の「金融商品に係る未実現純利益 / (損失)」の項目には含まれない。当該公正価値の変動は、包括利益計算書における「その他の包括利益」において認識される。かかる価値変動の算出に関する情報については、「注記9 債券発行」を参照のこと。上記の表に記載されている、債券発行により生ずる公正価値の変動は、信用以外のパラメータの変動に起因する。

公正価値の変動は、主に債券の価格、金利、信用スプレッド、ベースス・スワップ・スプレッドおよび外国為替相場といった市場価格の変動によるものであり、貸借対照表における帳簿価格および損益計算書に反映される。公社が取る為替リスクおよび金利リスクは非常に限定的であるため、該当するパラメータの変動は、貸借対照表における資産面および負債面に対し概ね釣り合いが取れており、損益計算書における純額への影響はわずかである。一方、流動性資産ポートフォリオに投資された債券、固定利付分割返済付貸付金および発行債券の信用スプレッドの変動は、ベースス・スワップ・スプレッドの変動と同様に、損益計算書に重要な影響をもたらす。

2021年第2四半期の未実現損失合計121百万クローネのうち、分割返済付貸付金および関連するヘッジ契約は、30百万クローネの損失をもたらした。ノート、ボンドおよびその他利付証券ならびにそれらに関連するヘッジ契約は、主に信用スプレッドの拡大により、33百万クローネの損失をもたらした。債券発行および関連するヘッジ・デリバティブは、主にベースス・スプレッドの拡大により、58百万クローネの損失をもたらした。

公正価値ヘッジにおける金融商品の認識された価値変動は2021年第2四半期において9百万クローネ生じた。かかる金額は、未実現の純価値変動として上表に含まれている。公正価値ヘッジに含まれる金融商品の帳簿価格は、187十億クローネである。

注記 3

金融商品の分類 (単位：百万クローネ)

2021年6月30日現在	合計	公正価値で表示されているもの			償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	
金融機関向債権	21,223	0	0	0	21,223
その他の金融市場預金	0	0	0	0	0
分割返済付貸付金	320,393	109,794	0	0	210,599
ノート、ボンドおよびその 他利付証券	110,878	83,790	0	0	27,088
金融デリバティブ	20,649	0	16,660	3,988	0
金融資産合計	473,143	193,584	16,660	3,988	258,909
金融機関からの負債	11,261	0	0	0	11,261
コマーシャル・ペーパー	18,745	0	0	0	18,745
債券発行	407,701	187,842	0	0	219,859
金融デリバティブ	17,494	0	15,981	1,514	0
劣後債務	2,024	2,024	0	0	0
金融負債合計	457,226	189,866	15,981	1,514	249,865

2020年6月30日現在	合計	公正価値で表示されているもの			償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	
金融機関向債権	32,249	0	0	0	32,249
その他の金融市場預金	488	0	0	0	488
分割返済付貸付金	311,729	105,428	0	0	206,301
ノート、ボンドおよびその 他利付証券	128,973	99,317	0	0	29,656
金融デリバティブ	26,941	0	18,814	8,127	0
金融資産合計	500,380	204,744	18,814	8,127	268,694
金融機関からの負債	14,658	0	0	0	14,658
コマーシャル・ペーパー	4,580	0	0	0	4,580
債券発行	423,699	174,834	0	0	248,865
金融デリバティブ	35,571	0	35,571	0	0
劣後債務	2,125	2,125	0	0	0
金融負債合計	480,632	176,959	35,571	0	268,103

2020年12月31日現在	合計	公正価値で表示されているもの			償却原価
		公正価値 オプション	公正価値で 表示されて いる強制項目	公正価値 ヘッジ	
金融機関向債権	18,950	0	0	0	18,950
その他の金融市場預金	1,712	0	0	0	1,712
分割返済付貸付金	321,874	110,423	0	0	211,452
ノート、債券およびその他利付証券	127,108	101,225	0	0	25,883
金融デリバティブ	25,176	0	18,589	6,587	0
金融資産合計	494,820	211,647	18,589	6,587	257,997
金融機関からの負債	13,871	0	0	0	13,871
コマーシャル・ペーパー	20,045	0	0	0	20,045
債券発行	413,717	175,317	0	0	238,400
金融デリバティブ	28,341	0	28,033	309	0
劣後債務	2,106	2,106	0	0	0
金融負債合計	478,080	177,423	28,033	309	272,316

注記 4

公正価値で測定した金融商品 (単位：百万クローネ)

公正価値を決定するために用いられる方法は、異なる程度の評価の不確実性を反映する、以下の3つのカテゴリーに入る。

レベル1 - 同一の資産および負債に対する、活発な市場における相場価格

レベル2 - 観測可能なインプットを利用する評価技法

レベル3 - インプットが著しく観測不能である場合の評価技法

評価技法、インプット、価値変動の分析および感応度についてのさらなる情報については、2020年年次報告書の注記11を参照のこと。2021年6月30日現在の公社の貸借対照表における公正価値で測定した金融商品は、公正価値ヒエラルキーにおいて以下の方法により分配される。

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融機関向債権	0	0	0	0
その他の金融市場預金	0	0	0	0
分割返済付貸付金	0	13,610	96,185	109,794
ノート、債券およびその他利付証券	75,920	1,183	6,687	83,790
金融デリバティブ	0	19,367	1,281	20,649
公正価値で測定した金融資産合計	75,920	34,160	104,153	214,233
金融機関からの負債	0	0	0	0
コマーシャル・ペーパー	0	0	0	0
債券発行	14,724	134,579	38,538	187,842
金融デリバティブ	0	9,385	8,110	17,494
劣後債務	0	0	2,024	2,024
公正価値で測定した金融負債合計	14,724	143,964	48,672	207,360

レベル3の変動調整

	分割返済付 貸付金	ノート、債券 およびその他利 付証券	債券発行	劣後債務	金融 デリバティブ
2020年12月31日現在の帳簿価格	95,879	7,768	48,687	2,106	(6,302)
買入れ	0	2,398	0	0	253
売却	0	0	0	0	0
発行	9,860	0	2,981	0	0
決済	(9,102)	(1,436)	(12,418)	0	(884)
レベル3への移行	794	351	0	0	0
レベル3からの移行	(975)	(1,734)	0	0	0
当期に認識された利益 / (損失)	(271)	(661)	(713)	(82)	104
2021年6月30日現在の帳簿価格	96,185	6,687	38,537	2,024	(6,828)

2021年上半期において、0.8十億クローネの資産(純額)がレベル2からレベル1へ移行された。2021年上半期中、レベル3から1.6十億クローネの純移行があった。レベル3への移行およびレベル3からの移行は、主として、報告期間における評価技法に用いるインプットの評価に影響を及ぼす市場環境の変化および分割返済付貸付金のための融資商品の借換え / 変更によるものである。レベル3におけるすべての金融商品に係る収益 / (損失)は、損益計算書における「純利息収益」、「金融商品に係る未実現純利益 / (損失)」もしくは「純トレーディング収益」または「その他の包括利益」として認識される。

評価技法に関する情報：

金融商品の公正価値を決定するために用いられる方法は、かかる商品の特性および仕組みに基づいて決定される。組込デリバティブまたはオプション要素がない金融商品の公正価値は、関連する観測可能な短期金融市場金利を用いて割引率が算出される割引キャッシュ・フロー法およびかかる商品の公正価値に対し影響を及ぼす可能性のあるその他の重大なリスク要因を用いて決定される。当該要因が報告日において確実に観測できない場合、経営陣は、公正価値を決定する際に仮定を置き、見積を利用することができる。組込デリバティブまたはオプション要素がある金融商品の公正価値は、観測可能な市場データおよび見積をインプットとして、割引キャッシュ・フロー法およびオプション・プライシング・モデルの組合せを用いて決定される。レベル3における評価に用いられる観測不能なインプットのうち最も重要なものは、活発な市場で取引されていない金融商品の信用スプレッドである。下表は、2021年6月30日現在のレベル3の金融資産および金融負債に対する信用スプレッドにおける10ベシス・ポイントの増加の影響を示している。

	2021年6月30日
分割返済付貸付金	(376)
ノート、債券およびその他利付証券	(15)
金融デリバティブ	(88)
債券発行	87
劣後債務	13
合計	(379)

注記 5

分割返済付貸付金 (単位：百万クローネ)

	2021年6月30日	2020年6月30日	2020年12月31日
元本金額	318,284	306,705	318,230
経過利息	877	1,080	985
公正価値調整	1,255	3,979	2,659
予想信用損失	(23)	(35)	(25)
分割返済付貸付金合計	320,393	311,729	321,849

注記 6

予想信用損失

2021年第2四半期において、2百万クローネ(減少)の分割返済付貸付金および債券の投資における予想信用損失の変動が記録されたが、これは主に、債務不履行確率の低下による。

以下の表は、当期末現在の分割返済付貸付金ならびにノート、ボンドおよびその他利付証券の帳簿価格の一部としての予想信用損失を示している。

(単位：百万クローネ)	2021年6月30日		2020年12月31日
	帳簿価格	予想信用損失	予想信用損失
分割返済付貸付金	210,599	(23)	(25)
ノート、ボンドおよびその他利付証券	27,088	(2)	(1)
合計	237,687	(25)	(26)

以下の表は、損益計算書において認識される当期の予想信用損失の変動の明細を示している。

(単位：千クローネ)	2021年4月～6月期	2021年1月～6月期	2020年
分割返済付貸付金	2,291	1,652	(13,273)
ノート、ボンドおよびその他利付証券	58	(560)	(259)
合計	2,349	1,093	(13,532)

以下の表は、2021年6月30日現在の公社の予想信用損失のステージ1、ステージ2およびステージ3への配分を示している。IFRS第9号金融商品に定められている減損の原則によると、ステージ1は、資産の認識時から信用リスクの著しい増加がないことを意味している。ステージ2は、かかる著しい増加を意味している一方、ステージ3は資産について信用減損していることを意味している。

すべてのエクスポージャーはステージ1の段階にあると見積られており、2018年から変更はない。

(単位：百万クローネ)	ステージ1	ステージ2	ステージ3
分割返済付貸付金	(23)	0	0
ノート、ボンドおよびその他利付証券	(2)	0	0
予想信用損失合計	(25)	0	0

注記 7

ノート、債券およびその他利付証券 (単位：百万クローネ)

発行体別のノート、債券およびその他利付証券	2021年6月30日	2020年6月30日	2020年12月31日
国内			
その他の発行体による発行	17,688	18,866	17,415
国外			
公共団体による発行 ¹⁾	76,462	87,962	61,557
その他の発行体による発行	16,729	22,146	48,137
ノート、債券およびその他利付証券合計	110,878	128,973	127,108

1) 政府機関、中央銀行、地方自治体および多国間開発銀行によって発行または保証されている。

満期別のノート、債券およびその他利付証券	2021年6月30日	2020年6月30日	2020年12月31日
1年以内	44,948	41,317	48,296
1年超5年以内	65,929	86,994	78,637
5年超	1	662	175
ノート、債券およびその他利付証券合計	110,878	128,973	127,108
平均満期(年) *	1.73	1.95	1.64

* 上記の表における「平均満期」は「ノート、債券およびその他利付証券」に適用されるが、金融市場預金には適用されない。これらは「金融機関向債権」の項目において表示される。2021年6月30日現在、かかる債権を含めた流動性資産の平均満期は1.60年である。

注記 8

ノート、債券およびその他利付証券における信用エクスポージャー (単位：百万クローネ)

以下の表の金額は、実際の信用エクスポージャーを示している。

2021年6月30日におけるエクスポージャー										
満期 リスク格付	1年以内				1年超					合計
	A-1	A-2	A-3	格付なし	BBB	A	AA	AAA	格付なし	
政府機関および中央銀行	17,924	0	0	0	0	2,354	17,497	800	0	38,574
多国間開発銀行	2,467	0	0	0	0	0	94	5,704	0	8,265
地方自治体	8,752	0	0	2,508	0	1,658	11,866	2,329	2,510	29,623
金融機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
証券化商品	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
カバード債券	7,426	0	0	5,871	0	0	2,919	18,199	0	34,415
合計	36,568	0	0	8,379	0	4,012	32,374	27,034	2,510	110,878

注記 9

債券発行 (単位：百万クローネ)

	2021年6月30日	2020年6月30日	2020年12月31日
1月1日現在の債券発行(元本)	405,451	400,489	400,489
新規発行	63,638	55,252	107,822
償還	(62,482)	(78,319)	(107,727)
償却	206	700	1,425
換算差額	(3,643)	35,839	3,441
期末現在の債券発行(元本)	403,169	413,961	405,451
経過利息	3,895	4,779	4,327
公正価値調整	636	4,959	3,939
このうち信用リスクの変動による価値変動	959	239	397
このうちその他の理由による価値変動	(322)	4,719	3,542
債券発行合計	407,701	423,699	413,717

信用リスクの変動による負債の価値変動は、米ドル3ヶ月国際金利指標(LIBOR)金利、EURIBOR金利またはNIBOR金利に換算される公社が支払う信用スプレッドの変動として、すなわち他の通貨から米ドルへの換算の調整の後に計算される。信用リスクの変動による負債の価値変動は包括利益合計において認識され、その他の市場パラメータの変動による負債の価値変動は損益計算書の「金融商品に係る未実現純利益/(損失)」の項目において認識される。

注記 10

資本 (単位: 百万クローネ)

	2021年6月30日	2020年6月30日	2020年12月31日
普通株式等Tier1資本			
株式資本	3,895	3,895	3,895
剰余金	11,781	11,223	11,092
Tier1資本に含まれる当期利益	516	385	1,159
年金約定を上回る年金基金	0	0	0
繰延税金資産 *	(1,564)	(430)	(1,611)
無形固定資産	(135)	(118)	(131)
未払配当金	(323)	(299)	0
普通株式等Tier1資本におけるその他の追加 / 控除	578	149	171
無効化された未償却見積差額の割合	0	0	0
普通株式等Tier1資本合計	14,747	14,805	14,574
その他の承認されたTier1資本	2,392	2,392	2,392
Tier1資本合計	17,139	17,196	16,966
その他の自己資本			
通常の劣後債務	2,000	2,000	2,000
その他の自己資本合計	2,000	2,000	2,000
総資本	19,139	19,196	18,966

* 将来の収益性に基づき、また一時差異に関連する繰延税金資産については、普通株式等Tier1資本の10%を超える分が資本から控除される。残余分は、250%のリスク・ウェイトでリスク・ウェイト後資産に追加される。

資本は、金融機関の資本の計算を定める規則に従って計算された。信用リスクの変動による負債の未実現利益 / (損失) は、非デリバティブ負債およびデリバティブ負債の両方を含む。

注記 11

自己資本比率 (単位：百万クローネ)

	2021年6月30日			2020年6月30日	2020年12月31日
	帳簿価格	リスク・ ウェイト 後資産	最低自己 資本要件	最低自己 資本要件	最低自己 資本要件
信用リスク					
政府機関および中央銀行	38,575	0	0	0	0
地方政府および地方自治体	345,064	64,387	5,151	5,015	5,176
このうちノルウェーの地方自治体	320,373	64,387	5,151	5,015	5,176
公共部門の事業体	4,948	0	0	0	0
多国間開発銀行	8,266	0	0	0	0
金融機関	26,984	3,676	294	263	164
このうちデリバティブにおける カウンターパーティーエクスポージャー	18,291	1,937	155	165	160
住宅抵当債権	21	21	2	2	2
カバードボンド	34,473	3,447	276	326	292
その他の資産	1,643	4,089	327	306	325
証券化商品	1	0	0	0	0
信用評価調整	153	1,914	153	353	260
信用リスク合計	460,128	77,535	6,203	6,265	6,219
市場リスク	0	0	0	0	0
オペレーショナルリスク - 基本表示アプローチ		3,772	302	310	302
最低自己資本要件		81,307	6,505	6,575	6,521
自己資本比率(合計)			23.5%	23.4%	23.3%
自己資本比率(Tier1資本)			21.1%	20.9%	20.8%
普通株式等Tier1自己資本比率			18.1%	18.0%	17.9%
レバレッジ比率			3.8%	3.7%	3.7%

第3 【外国為替相場の推移】

(1) 【当該半期中における月別為替相場の推移】

豪ドル、米ドル、南アフリカランド、インドルピー、インドネシアルピア、ブラジル・レアルおよびトルコリラと日本円との間の為替相場は、日本国内において時事に関する事項を掲載する2以上の日刊新聞紙に当該半期中において掲載されているため、記載を省略する。

(2) 【最近日の為替相場】

同上